

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2009年10月18日現在

概況 ワシントン州東部の10月18日に終る1週間は、平年より極めて低い気温で所により降雨を伴う気象であった。EC地区の最高気温は62~70度F、最低気温は20~25度Fとなり、平均気温は平年を4~6度F下回った。SE地区の最高気温は69~74度F(Pullman)であったが、最低気温が13~30度F(Walla Walla)と低く、平均気温は平年を5~7度F下回った。この中でPullman観測所では、平均気温は平年を2度F上回った。1週間の降水量はEC地区では0.43~60インチ、SE地区では0.52~0.68インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.8日(前週:6.7日)であった。Topsoil及びSubsoilの水分は前週より改善したが、5年平均の水準には至らなかった。2010年産冬小麦の播種は、降雨と低温の為にスローダウンしたが、昨年より早い進展であった。播種は、全州の94%(去年同期:86%、5年平均:91%)にて完了し、72%にて出芽した。低温と雨不足の為に発芽に問題が出ていた。Adams郡等EC地区ではこの度の降雨で再播種が盛んに実施された。Whitman郡にも降雨はあったが、多くの圃場にて更に降雨を必要としていた。Walla Walla郡の冬小麦は良好な作柄と報告されたが、州平均の冬小麦の作柄評価は低温・乾燥の為に前週より落ちた。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	13	21	56	10
	5-Yr Ave.	9	23	62	6
Subsoil	This week	18	34	46	1
	5-Yr Ave.	17	36	46	1
Irrigation	This week	0	3	96	1
	5-Yr Ave.	3	6	91	0

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	94	93	86	91
Emerged	72	71	62	58

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	6	12	47	31	4
Last week	4	16	35	43	2

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.